

出生前診断 に向き合う

趣旨

現在の非侵襲的出生前診断
(Noninvasive Prenatal
Testing, NIPT)

をめぐる状況から、
日本の出生前診断について
の経験を振り返り、
生命の尊厳、両親の思い、
生まれる子どもを
考える。

シンポジウムの時間・場所

2019年12月14日 (土)
13:30~17:30

上智大学四谷キャンパス
2-414教室

プログラムと演者

開会の挨拶 **13:30**

○ 産婦人科医からみた非侵襲的
出生前診断 (NIPT) の本質
石原 理 (埼玉医科大学) **13:40**

○ 産む選択と産まない選択:
ピアサポートとして
水戸川 真由美
(NPO法人親子の未来を支える会) **14:10**

○ 親の意思決定を支える
遺伝カウンセラーの役割
滝澤 公子 (NPO法人遺伝
カウンセリング・ジャパン
理事・事務局長) **14:40**

○ 出生前の生命をめぐる法と倫理
本田 まり (芝浦工業大学) **15:10**

休憩 **15:40**
指定質問者からの発言 **15:50**

山内 泰子 (川崎医療福祉大学)

山中 美智子 (聖路加国際病院)

玉井 真理子 (信州大学)

島田 真理恵 (上智大学)

小林 真紀 (愛知大学)

パネルディスカッション/質疑応答 **16:30**
閉会 **17:40**

